

# 修復家が語る絵画技法

フラ・アンジェリコから印象派、現代まで

講師 修復家 加賀 優記子

フラ・アンジェリコやミケランジェロが制作したフレスコ画技法、ポッティチェリのテンペラ画、シモーネ・マルティーニの黄金背景、ティツアーノが描き始めた有色下地の油彩画、北方のヤン・ファン・アイクの技法からルーベンス、そして印象派、現代まで……。美術史上のあらゆる技法を、1回目の講義では、美しいスライドや実際の材料をお見せしながら判り易く解説し、2回目では実際にデモンストレーションを見たり、自身が体験をする事によって、より技法や材料の理解を深めます。



これまで油絵を制作していて、材料・技法に対する知識をもっと深めたい方、これから絵を描くことに挑戦しようと思われる方、美術史に興味のある方、修復の勉強をしようとする方、どんな方にも大変役立つ講座です。

## 〈講師紹介〉かが・ゆきこ

武蔵野美術短期大学油絵学科及び同大学油絵専攻科卒業。1984年渡仏、パリ国立美術大学デッサン科に学ぶ。ドミニク・ラルフェール修復工房にて修復技術を習得。ルーブル美術館専属の修復家クシェジェンスキー氏に師事し、ルーブル美術館絵画修復員として勤務。1992年鎌倉美術修復工房設立。1998年小山敬三賞修復部門受賞。2001年ベルリン国立博物館ラトゲン研究所およびドイツ政府産業化学研究所 (BAN) にて「天然、合成樹脂の分析研究」をテーマに研修。IIC (国際文化財化学保存会議会) 会員、日本古文化財科学保存会会員。主な修復作品にドラクロワ作 サルダナパールの死 (ルーブル美術館) ブリュードン作 キリスト磔刑 (ルーブル美術館) ブロンデル作 コングレの間、ルイ16世の間天井画 (ルーブル美術館) ドラクロワ作 王の間天井画 (ブルボン宮殿・フランス国会議事堂) ミッシェル・デュマ作 布教するサン・ドニ (ノートルダム・ド・クリニャンクール寺院) などがある。